

【道徳・中1・「いじめのない世界へ『ふたつの心』（複数内容項目）」①

育成を目指す資質・能力

いじめに関係する人物やその周囲の人の心情を考えることを通して、自分はどうのようにいじめと向き合っていくかを考えようとする態度を育てる。

ICT活用のポイント

傍観者である私が葛藤する場面においてデジタル心情メーターを活用し、自分事としてどのようにいじめと向き合っていくかを考える

【導入】

事前のアンケート結果を提示し本時で扱う道徳的価値について問題意識をもつ。「いじめとどのように向き合っていくか考えよう。」

【展開】

登場人物のそれぞれの心情を考える。
・この状況を改善するために、どうしたらいいか考える。
・それぞれの改善策を考え、よりよい人間関係を築くためにどうしたらいいか考える。

【終末】

自分自身のこととして、本時のめあてについてもう一度考える。「いじめとどのように向き合っていくか考えよう」

事例におけるICT活用場面①

アンケート機能を活用し、本時のねらいである「いじめとどのように向き合っていくか」についての方向付けを行う。

事例におけるICT活用場面②

デジタル心情メーターを活用し、ふたつの心の中で葛藤する私の気持ちになって考える。
デジタル心情メーターを活用し、話し合いをした後の心情の変化を見られるようにする。

事例におけるICT活用場面③

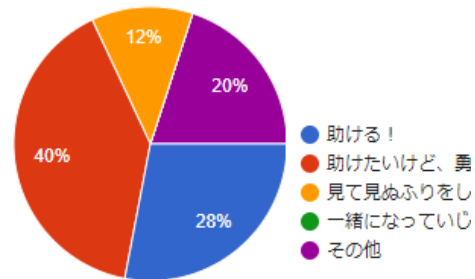
プレゼンテーションソフトの共同編集機能を活用し、ワークシートに書いた自分の記述を撮影しスライドに貼り付け、考えを共有する。

【道徳・中1・「いじめのない世界へ『ふたつの心』（複数内容項目）」②】

【事例におけるICT活用の場面①】



①あなたの近くでいじめが起きていたら、

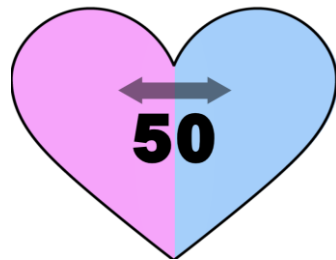


アンケート機能を活用したことで、全体の考えをすぐに可視化することができる。

問題意識をもたせることと、クラスの傾向を把握することができる。

端末で再度提示することで、新たな気づきや、思考の深まりを実感しやすくなる。

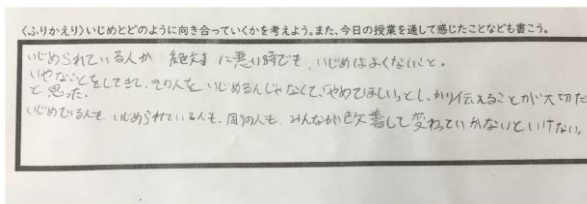
【事例におけるICT活用の場面②】



デジタル心情メーターを活用することで、心情を可視化しやすい。数値が一緒に出ることで、どうしてそうなったのかを説明できた。

話し合い活動の前後のデジタル心情メーターを比較することで、心情の変化を確認できる。

【事例におけるICT活用の場面③】



ワークシートの記述を撮影してスライドに貼り付けることで、紙媒体とデジタルデータ両方で保存、蓄積できる。手書きしたものを共有するので、テキスト入力が不要になるだけでなく、図や表などを使って多様な方法で表現できる。

ICT端末上でクラス全員の考えを閲覧することができ、多面的・多角的に考えることと他者理解ができる。

【活用したソフトや機能】

アンケート デジタル心情メーター 表計算ソフト プレゼンテーションソフト